

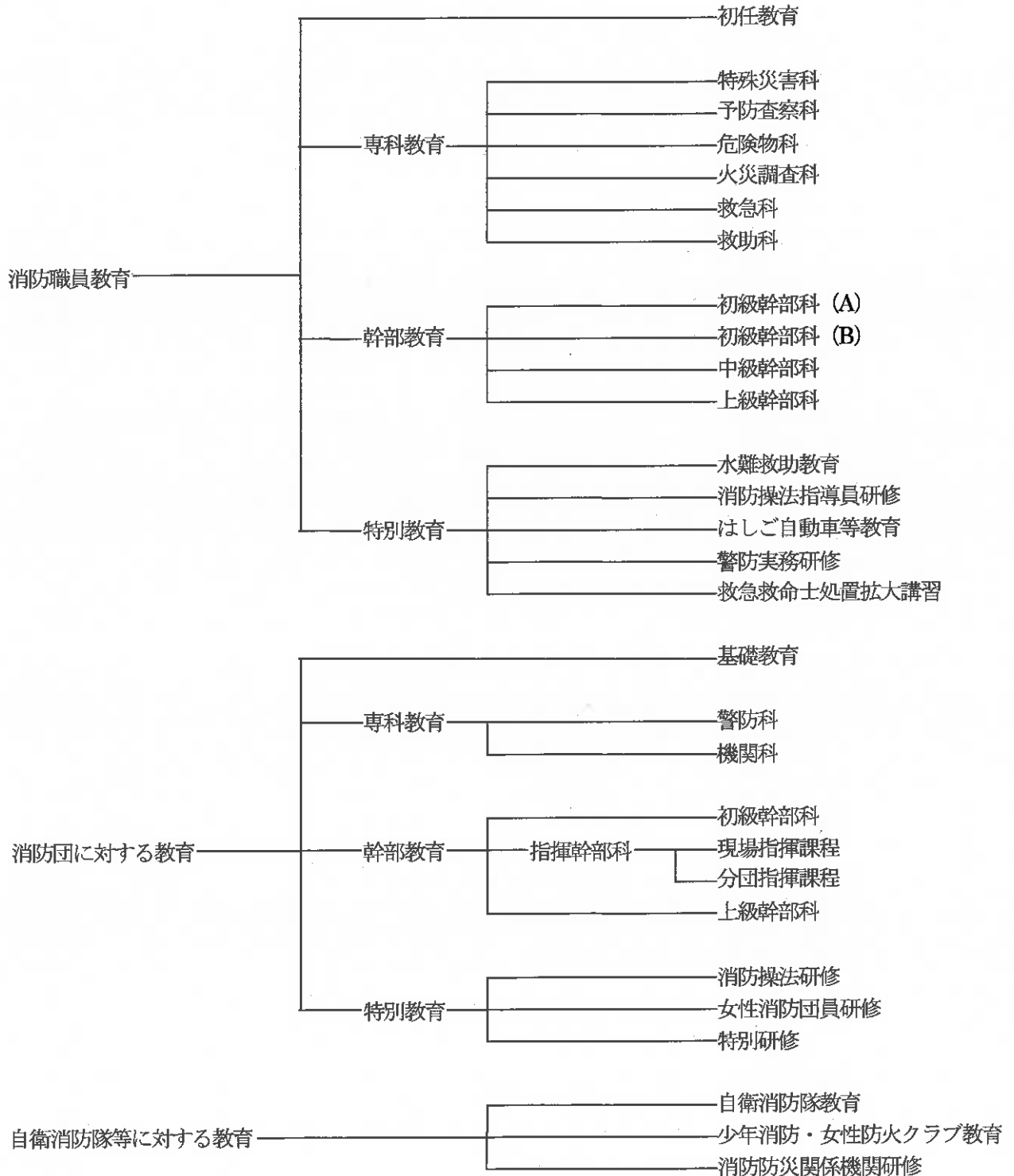
第10 消防教育訓練

第10 消防教育訓練

1 福岡県消防学校の教育訓練の目的

社会情勢の変化や技術の発展に的確に対応するために、住民から期待される水準を充たす消防防災に係る知識及び技能の効率的かつ効果的な修得を図り、もって適切公正、安全かつ能率的に業務を遂行できるよう消防職員、消防団員等の資質を高めることを目的とする。

福岡県消防学校の教育体系



福岡県消防学校の種別

教 育 種 別	教 育 指 標	
消 防	初 任 教 育	新たに採用された消防職員の全てに対して行う基礎的教育訓練を行い、卒業後、直ちに警防隊員として活動できる職員を養成する。
	特 殊 災 害 科	各級指揮者として、多数の傷病者を発生させる恐れが高く、消防活動に困難を伴う災害現場において、特に隊員の安全管理に配慮しつつ、適切、効果的な消防戦術を指揮できる職員を養成する。
	予 防 査 察 科	予防・査察業務に関する専門的知識及び技能を修得し、厳正で公正な査察及び重大な違反対象物に対する是正指導、法令に基づく権限行使が行える職員を養成する。
	危 険 物 科	危険物施設の許認可、規制等に係る専門的知識を修得し、これらの知識を適切に活用して、必要な危険物行政事務を的確に処理できる職員を養成する。
	火 災 調 査 科	火災原因調査に係る専門的知識及び技能を修得し、これらの知識を適切に活用して火災調査業務を的確に遂行できる職員を養成する。
	救 急 科	救急医学に関する基礎知識に基づき、応急処置時における的確な観察・判断能力、応急処置に必要な専門的技能を修得し、救急隊員として活動できる職員を養成する。
	救 助 科	救助活動に係る最新の専門的知識及び専門的で高度な技能、技術を修得し、救助隊員として活動できる職員を養成する。
職	初 級 幹 部 科 (A)	消防士長を対象に、分隊長 (小隊長) として必要な業務管理や現場指揮要領を修得し、上司の補佐及び部下の指導を行い、業務の遂行ができる職員を養成する。
	初 級 幹 部 科 (B)	消防司令補に対し、初級幹部として、旺盛な職務遂行の意欲にあふれ、消防行政の現状や課題を理解し、上司の補佐及び部下の指導を行い、業務の遂行ができる職員を養成する。
	中 級 幹 部 科	消防司令に対し、中級幹部として、消防行政の動向を理解するとともに、迅速かつ的確な意思決定により、上司の補佐及び部下の指揮監督を行い、組織を管理運営できる職員を養成する。
	上 級 幹 部 科	原則として消防司令長以上に対し、上級幹部にふさわしい業務管理、人事管理、危機管理に必要な知見を備え、かつ、職務遂行に必要な水準の判断力を有し、組織全体を円滑に管理運営できる職員を養成する。
	水 難 救 助 教 育	潜水救助に必要な知識技術を修得するとともに、潜水士免許を取得し、多発する水難事故等に際し、迅速確実に対応できる職員を養成する。
	消 防 操 法 指 導 員 研 修	消防ポンプ操法の指導員として必要な知識技術を修得し、消防団員に対し、効果的にポンプ操法の指導が行える職員を養成する。
	は し ご 自 動 車 等 教 育	はしご自動車等の操作員として必要かつ基本的な安全知識、取扱操作技術等を修得し、はしご自動車等の安全運行ができる職員を養成する。
	警 防 実 務 研 修	消防士・消防副士長を対象として、火災防ぎよを中心とした実科訓練を実施することにより、隊員としての防ぎよ活動及び機動運用能力を備えた職員を養成する。
	救 急 救 命 士 処 置 拡 大 講 習	薬剤投与の実施に係る認定を受けている救急救命士を対象に救急現場において、心肺停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液投与等、病態に適した適切な薬剤の投与ができる能力を養成する。
	消 防 団	基 礎 教 育
警 防 科		火災防ぎよ、自然災害及び大規模災害等における消防団の役割と活動要領等について修得し、効果的な消防活動ができる消防団員を養成する。
機 関 科		道路交通関係法令及びポンプ工学に関する専門的知識を修得し、消防自動車を迅速・的確に運行できる消防団員を養成する。
初 級 幹 部 科		班長を対象に、火災防ぎよ活動、現場指揮要領を修得するとともに、自然災害の防災対策に関する知識と住民に対する防災指導要領を学び、上司を補佐し、効果的な消防活動を指導できる初級幹部団員を養成する。
現 場 指 揮 課 程		部長を対象に、災害時における火災防ぎよ、水災活動、救助救命、避難誘導及び情報収集・伝達に係る的確な現場指揮及び安全管理の知識及び技術を修得するとともに、自主防災組織に対して防災指導を行える指揮者を養成する。
分 団 指 揮 課 程		分団長又は副分団長を対象に、各種災害発生時における分団の管理運営及び効果的な現場活動の在り方を深く理解する指揮者を養成する。
上 級 幹 部 科		団長及び副団長を対象に、消防団組織の運営管理及び自然災害や大規模災害等の対応を修得するとともに、効果的な消防団活動を管理することができる上級幹部団員を養成する。
自 衛 消 防 隊 等	消 防 操 法 研 修	消防ポンプ操法に関する知識技術を修得し、消防ポンプ操法を指導するとともに実践できる消防団員を養成する。
	女 性 消 防 団 員 研 修	女性消防団員を対象に、防火防災に関する基本的知識及び初期消火・救命処置技術を修得し、地域の安全・安心に寄与できる団員を養成する。
	自 衛 消 防 隊 教 育	県内の各事業所等内で編成された自衛消防隊及び自衛防災要員を対象に、消防防災活動に必要な知識技術を修得するための教育訓練を行う。
自 衛 消 防 隊 等	少 年 消 防 ・ 女 性 防 火 ク ラ ブ 教 育	少年消防クラブ員及び女性防火クラブ員を対象に、防火クラブ活動に必要な知識技術を修得するための教育訓練を行う。
	消 防 防 災 関 係 機 関 研 修	消防防災関係機関の職員を対象に、消防・防災に関する知識技術を修得するための教育訓練を行う。

2 消防大学校における教育訓練

消防大学校においては、都道府県の消防事務従事職員や市町村の消防職団員等に対し、幹部として必要な高度な教育訓練が実施されている。平成25年度中の県内における入校状況は、第10-5表のとおりである。

3 救急振興財団における救急救命士養成教育

消防職員の救急救命士養成教育については、一部の政令指定都市消防学校などで行われているほか、全国都道府県の共同出資により平成3年に設立された(財)救急振興財団(平成25年4月から「(一財)救急振興財団」)の救急救命士養成施設で実施されている。同財団では、平成3年8月に東京都内に救急救命中央研修所を開設し、救急隊員が救急救命士の資格を国家試験により取得するための養成教育を開始したが、平成5年10月にはこれを改組して救急救命東京研修所を開設し、さらに平成7年4月には北九州市内に救急救命九州研修所を開設した。

徐々に養成規模を拡大しており、平成10年度からは、両研修所を合わせ年間約1,000名を養成することが可能となった。

救急振興財団救急救命研修所への入校状況

年度	人数	備 考
18	33	北九州市(6)、福岡市(7)、大牟田市、久留米市、直方市、大川市、行橋市、柳川市、八女地区、筑紫野太宰府、飯塚地区、みやま市、春日大野城那珂川、田川地区(3)、京築広域圏、県南広域、直方鞍手、甘木朝倉、粕屋南部、粕屋北部
19	36	北九州市(4)、福岡市(6)、大牟田市、久留米市(2)、直方市、大川市、行橋市、中間市、柳川市、糸島地区(2)、八女地区(2)、筑紫野太宰府、飯塚地区、みやま市、春日大野城那珂川、田川地区、京築広域圏、県南広域(2)、直方鞍手、甘木朝倉、粕屋南部、粕屋北部、遠賀郡(2)
20	34	北九州市(4)、福岡市(6)、大牟田市、久留米市(3)、筑後市、大川市、中間市、みやま市、糸島地区(2)、八女地区(2)、飯塚地区、春日大野城那珂川、田川地区、京築広域圏、県南広域(2)、直方鞍手、甘木朝倉、粕屋南部、宗像地区、粕屋北部、遠賀郡
21	28	北九州市(3)、福岡市(4)、大牟田市、行橋市、中間市、みやま市、苅田町、糸島市(2)、八女(2)、飯塚地区、春日大野城那珂川、田川地区、久留米広域(4)、直方鞍手、甘木朝倉、粕屋南部、宗像地区、遠賀郡
22	27	北九州市(3)、福岡市(6)、大牟田市、直方市、行橋市、中間市、みやま市、八女地区、飯塚地区、春日大野城那珂川、田川地区、久留米広域(3)、直方鞍手、甘木朝倉、粕屋南部、宗像地区、粕屋北部、遠賀郡
23	31	北九州市(4)、福岡市(6)、大牟田市、筑後市、中間市、みやま市、糸島市、苅田町、八女地区、筑紫野太宰府、飯塚地区(2)、春日大野城那珂川、田川地区、久留米広域(3)、直方鞍手、甘木朝倉、粕屋南部、宗像地区、粕屋北部、遠賀郡
24	32	北九州市(5)、福岡市(8)、大牟田市、大川市、みやま市、糸島市、八女地区、筑紫野太宰府、飯塚地区(2)、春日大野城那珂川、田川地区、久留米広域(3)、甘木朝倉(2)、粕屋南部、宗像地区、粕屋北部、遠賀郡
25	34	北九州市(4)、福岡市(8)、大牟田市、筑後市、大川市、中間市、みやま市、糸島市、苅田町、筑紫野太宰府、飯塚地区(2)、春日大野城那珂川、田川地区(2)、久留米広域(3)、京築広域圏、甘木朝倉、粕屋南部、宗像地区、粕屋北部、遠賀郡
26	44	北九州市(4)、福岡市(8)、大牟田市、直方市、柳川市、大川市、行橋市(2)、中間市、みやま市、筑紫野太宰府(2)、飯塚地区(4)、春日大野城那珂川、田川地区(3)、久留米広域(5)、京築広域圏、甘木朝倉(2)、粕屋南部(2)、宗像地区(2)、粕屋北部、遠賀郡
27	41	北九州市(6)、福岡市(4)、大牟田市、柳川市(2)、筑後市、行橋市、中間市、みやま市、糸島市(2)、苅田町、八女、筑紫野太宰府、飯塚地区(2)、春日大野城那珂川(2)、田川地区、久留米広域(3)、京築広域圏(2)、直方鞍手、甘木朝倉(2)、粕屋南部(2)、宗像地区、粕屋北部(2)、遠賀郡

4 その他

(1) 消防操法大会

消防団員の消防ポンプ操法技術の向上を図るため訓練等が実施され、その技術を競う消防操法大会が男女隔年ごとに実施されている。

平成26年度は、第23回福岡県消防操法大会（男性）が開催された。

消防操法大会の実施状況

競技区分	福岡県大会 平成26年9月7日	
	参加数	優勝団名
自動車ポンプ	25団体	小都市消防団
小型ポンプ	14団体	福岡市早良消防団

(2) 消防救助技術指導会

消防職員の救助技術を相互に交換し、研鑽する場として、消防救助技術指導会が毎年開催されている。

平成26年度消防救助技術指導会の実施状況

競技区分		県指導会 (県消防学校) H26. 5. 30	九州指導会 (宮崎県総合運動公園) H26. 7. 18		全国大会 (千葉県消防学校) H26. 8. 27 ※広島豪雨災害のため中止	
		参加数	参加数		参加数	
			総数	福岡県	総数	福岡県
連携訓練	引揚救助	12囀 60人	16囀 80人	3囀 15人	-	-
	ロープブリッジ救出	25囀 100人	29囀 116人	7囀 28人	-	-
	ほふく救出	27囀 81人	-	-	-	-
	ロープ応用登はん	22囀 44人	-	-	-	-
	障害突破	8囀 40人	15囀 75人	3囀 15人	-	-
基礎訓練	ロープブリッジ渡過	35人	-	-	-	-
	梯子登はん	29人	-	-	-	-
技術訓練		2囀 10人	3囀 16人	-	-	-

消防学校訓練風景写真



初任教育火災防ぎょ訓



初任教育救助訓練



初任教育夜間訓練



水難救助教育潜水訓練



警防実務研修消防活動訓練



初級幹部科現場指揮訓練



消防団基礎教育消防活動訓練



女性防火クラブ初期消火訓

第10-1表 福岡県消防学校における教育実施結果

平成26年度中

教育種別		実施期間	入校日数 (日)	教育日数 (日)	教育時間 (時間)	修了者数 (人)	教育量 (人×日数)
消防職員	第128回初任教育	平成26年4月7日～平成26年9月19日	166	115	800	100	11,500
	第129回初任教育	平成26年10月2日～平成27年3月26日	176	115	800	49	5,635
	第4回予防査察科	平成27年3月2日～平成27年3月13日	12	10	70	30	300
	第28回救急科	平成26年9月25日～平成26年11月13日	50	34	238	90	3,060
	第29回救急科	平成27年1月7日～平成27年2月25日	50	34	238	52	1,768
	第7回初級幹部科(A)	平成26年6月23日～平成26年6月27日	5	5	35	44	220
	第43回初級幹部科(B)	平成26年6月4日～平成26年6月17日	14	10	70	22	220
	第10回上級幹部科	平成26年5月14日～平成26年5月16日	3	3	21	12	36
	第21回水難救助教育	平成26年7月8日～平成26年7月24日	17	12	84	32	384
	消防操法指導員研修	平成26年5月8日～平成26年5月9日	2	2	14	69	138
	第8回警防実務研修	平成26年4月21日～平成26年4月25日	5	5	35	35	175
	小計		500	345	2,405	535	23,436
消防団員	基礎教育	平成26年4月13日	1	1	6	195	195
		平成26年4月20日	1	1	6	163	163
	第11回初級幹部科	平成26年11月28日～平成26年11月29日	2	2	12	45	90
	第11回中級幹部科	平成26年6月20日	1	1	6	74	74
	第11回上級幹部科	平成26年5月21日	1	1	6	15	15
小計		6	6	36	492	537	
自衛消防隊員等	自衛消防隊教育	平成26年11月19日	1	1	6	48	48
		平成26年11月26日	1	1	6	63	63
	少年消防・女性防火クラブ	平成26年9月11日～平成26年9月12日	2	2	12	25	50
	小計		4	4	24	136	111
合計		510	355	2,465	1,163	24,109	

※ 救急科の修了者数については、実習終了後修了証書を交付するため、予定者を含む。

第10-2表 福岡県消防学校における最近5年間の修了者数

教育種別		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	合計
消防職員	初任教育	147	146	162	143	149	747
	警防科	22	-	21	-	-	43
	特殊災害科	-	23	-	24	-	47
	救助科	-	24	-	38	-	62
	救急科	159	144	147	158	142	750
	予防査察科	-	23	-	-	30	53
	危険物科	-	-	21	-	-	21
	火災調査科	28	-	-	32	-	60
	初級幹部科(A)	38	46	34	42	44	204
	初級幹部科(B)	17	18	20	17	22	94
	中級幹部科	12	11	13	12	-	48
	上級幹部科	14	14	12	-	12	52
	水難救助教育	26	-	24	-	32	82
	消防操法指導員研修	68	-	72	-	69	209
はしご自動車等教育	-	-	25	-	-	25	
警防実務研修	27	24	27	28	35	141	
小計	558	473	578	494	535	2,638	
消防団員	基礎教育	366	363	388	339	358	1,814
	機関科	-	-	-	-	-	-
	警防科	32	-	-	-	-	32
	初級幹部科	48	47	43	52	45	235
	中級幹部科	71	69	85	83	74	382
	上級幹部科	21	24	29	14	15	103
	消防操法研修	-	41	-	41	-	82
	女性消防団員研修	17	12	13	7	-	49
	特別研修	155	107	87	95	-	444
	小計	710	663	645	631	492	3,141
自衛消防隊員等	自衛消防隊教育	95	107	105	101	111	519
	少年消防・女性防火クラブ教育	25	27	28	17	25	122
	消防防災関係機関研修	107	126	20	39	24	316
	小計	227	260	153	157	160	957
合計	1,495	1,396	1,376	1,282	1,187	6,736	

※ 平成26年度の救急科の修了者数については、実習終了後修了証書を交付するため、予定者を含む。

第10-3表 福岡県消防学校における消防職員教育の修了者数

平成26年度中

区 分	合 計	初 任 教 育	救 急 科	初 級 幹 部 科 (A)	初 級 幹 部 科 (B)	上 級 幹 部 科	水 難 救 助 教 育	消 防 操 法 指 導 員 研 修	警 防 実 務 研 修
県 計	505	149	142	44	22	12	32	69	35
北 九 州 市	46	24	15	-	-	-	-	7	-
福 岡 市	22	-	-	18	-	-	-	4	-
大 牟 田 市	12	4	5	-	-	-	1	2	-
直 方 市	19	4	1	2	2	-	4	2	4
柳 川 市	12	1	1	2	1	1	2	2	2
筑 後 市	13	3	6	1	1	-	-	2	-
大 川 市	10	1	1	1	1	1	2	2	1
行 橋 市	13	2	2	2	2	-	2	1	2
中 間 市	5	2	2	1	-	-	-	-	-
み や ま 市	14	4	2	1	1	-	2	2	2
糸 島 市	14	-	5	-	1	1	3	3	1
苅 田 町	6	1	1	1	-	-	-	2	1
八 女 地 区	11	3	3	1	-	-	1	2	1
筑 紫 野 太 宰 府	16	4	6	1	1	-	1	2	1
飯 塚 地 区	20	9	2	1	1	1	2	3	1
春日大野城那珂川	25	5	9	1	1	-	3	3	3
田 川 地 区	15	4	4	1	1	1	2	2	-
久 留 米 広 域	53	17	12	4	4	2	-	8	6
京 築 広 域 圏	40	15	14	2	1	2	1	3	2
直 方 鞍 手 広 域	23	11	8	-	-	-	1	3	-
甘 木 朝 倉 広 域	23	8	8	1	-	-	1	3	2
粕 屋 南 部	31	10	13	1	1	1	-	3	2
宗 像 地 区	15	2	6	1	1	1	1	2	1
粕 屋 北 部	19	7	5	-	1	1	1	3	1
遠 賀 郡	22	8	5	1	1	-	2	3	2
そ の 他	6	-	6	-	-	-	-	-	-

※ 救急科の修了者数については、実習終了後修了証書を交付するため、予定者を含む。

第10-4表 福岡県消防学校における消防団員教育の修了者数

平成26年度中

区 分	基 礎 教 育	初 級 幹 部 科	中 級 幹 部 科	上 級 幹 部 科	合 計
県 計	358	45	74	15	492
北 九 州 市	-	7	-	-	7
福 岡 市	-	-	-	-	-
大 牟 田 市	-	1	-	1	2
直 方 市	9	-	1	-	10
柳 川 市	-	-	-	-	-
筑 後 市	-	-	3	-	3
大 川 市	30	-	4	1	35
行 橋 市	-	2	2	1	5
中 間 市	-	2	-	-	2
み や ま 市	-	-	5	-	5
糸 島 市	-	-	-	-	-
苅 田 町	-	-	-	-	-
八 溝 成 市 町 村 計	-	-	-	-	-
八 女 市	-	-	-	-	-
広 川 町	-	-	-	-	-
筑 紫 野 太 宰 府 市 町 村 計	-	2	2	-	4
筑 紫 野 市	-	2	2	-	4
太 宰 府 市	-	-	-	-	-
飯 塚 地 区 市 町 村 計	73	-	5	-	78
飯 塚 市	34	-	-	-	34
嘉 麻 市	32	-	5	-	37
桂 川 町	7	-	-	-	7
春 日 大 野 城 那 珂 川 市 町 村 計	-	7	10	-	17
春 日 市	-	1	3	-	4
大 野 城 市	-	2	3	-	5
那 珂 川 町	-	4	4	-	8

第10-4表 福岡県消防学校における消防団員教育の修了者数

平成26年度中

区 分	基 礎 教 育	初 級 幹 部 科	中 級 幹 部 科	上 級 幹 部 科	合 計
田川地区 構成市町村計	42	2	10	-	54
田川市	12	-	1	-	13
香春町	7	2	2	-	11
添田町	8	-	-	-	8
糸田町	-	-	-	-	-
川崎町	13	-	-	-	13
大任町	-	-	-	-	-
赤村	2	-	2	-	4
福智町	-	-	5	-	5
久留米広域 構成市町村計	22	10	23	1	56
久留米市	-	5	13	1	19
小郡市	22	-	-	-	22
うきは市	-	5	5	-	10
大刀洗町	-	-	5	-	5
大木町	-	-	-	-	-
京築広域 構成市町村計	-	4	3	2	9
豊前市	-	-	-	1	1
みやこ町	-	-	-	-	-
吉富町	-	-	-	-	-
上毛町	-	-	-	-	-
築上町	-	4	3	1	8
直方鞍手広域 構成市町村計	22	-	2	-	24
宮若市	18	-	2	-	20
小竹町	2	-	-	-	2
鞍手町	2	-	-	-	2
甘木朝倉広域 構成市町村計	-	7	-	1	8
朝倉市	-	5	-	-	5
筑前町	-	1	-	1	2
東峰村	-	1	-	-	1

第10-4表 福岡県消防学校における消防団員教育の修了者数

平成26年度中

区 分	基 礎 教 育	初 級 幹 部 科	中 級 幹 部 科	上 級 幹 部 科	合 計
粕屋南部 構成市町村計	72	-	-	6	78
宇美町	7	-	-	1	8
篠栗町	14	-	-	1	15
志免町	14	-	-	1	15
須恵町	13	-	-	1	14
久山町	14	-	-	1	15
粕屋町	10	-	-	1	11
宗像地区 構成市町村計	46	-	2	-	48
宗像市	28	-	2	-	30
福津市	18	-	-	-	18
粕屋北部 構成市町村計	25	-	-	2	27
古賀市	17	-	-	1	18
新宮町	8	-	-	1	9
遠賀郡 構成市町村計	17	1	2	-	20
芦屋町	2	1	1	-	4
水巻町	-	-	-	-	-
岡垣町	12	-	1	-	13
遠賀町	3	-	-	-	3

